

トータル保険だより

2015年 3月号



(有)トータル保険がみなさんにお届けするニュースレターです。

《発行元》

有限会社トータル保険

平成27年 3月 1日 第227号

〒997-0853 鶴岡市小淀川色田69-28

TEL:0235-25-1315 FAX:0235-25-1064

URL: <http://total-hoken.net/>

五十肩に

なりまいて

いた、いたたた。肩が痛い。それは、今まで経験したことのないような痛みでした。右肩から二の腕の辺りを、突然、激痛が襲ったのです。床の拭き掃除をしていて、無理な姿勢をしたのがいけなかったのだろうか。ちよつと静かにしていれば痛みも治まるだろう、くらいに思っていました。ところが、一週間経っても良くなるどころか、痛みがひどくなっているような気がします。食事、入浴、着替えなど、日常生活の今までも何でもないことが一苦勞です。それから、ひと月ほど経っても痛みを訴える私を見るに見かねて、妻が、近所で評判の整体治療院に連れて行ってくれました。私の肩に、ちよつと触れただけで、その整体師の先生は、「ああ、これはこれは。立派な五十肩だ。痛み始めて三〜四週間というところかな」そんなことまで分かるのか。さすがは整体名人、とちよつと驚きました。しかし、「五十肩って、私まだ四十五歳なんですが：」「三十歳でなっても、七十歳でも、五十肩っていうんです。これはね、人間だったら誰でもなつて不思議はないんです」「でも、あなた、いい時にきましたね。今、一番痛い時だから」え？一番痛い時

が、いい時？どうということかと尋ねると、こんなふうに教えてくれました。「山を登るのでも、てっぺんまで来たなら、後は下りるだけでしょ。それと同じで、一番痛い時、痛みのてっぺんを通り過ぎれば、後は良くなつていくんです。ここまできたら、後は放つて置いても治るんですが、痛みのてっぺんまで来た時に、ちよつと後押ししてやると、早く楽になるわけです」さすがは名人。妙に説得力があります。そんな話を聞きながら、しばらく治療を受けると、随分楽になりました。それからまた、ふた月ほど経つたある日、「そういえば、最近あんまり痛い痛いつて言わないようになってたね」と妻が言います。そう言われてみれば、右肩の痛みが楽になっていきます。妻の一言で、随分良くなっていることに気付きました。自然治癒力ということなのでしょうが、こんなふうに痛みが治まってくると、不思議な感じさえします。薬を使ったわけでもないし、手術もしていません。それなのに治つていくのです。人間の体って大したものだと思います。四十五年の長きにわたり、毎日日動かしたからといって、痛みを感じることもなつてなかったのです。考えてみると、これはとてつもないことなのです。改めて、自分の体に『ありがとう』と感謝をしたいです。



何かあった時のために

西洋料理しもん

佐藤寛夫さま

何年前かに、店舗駐車場の柵が壊れていて、トータル保険の進藤さんに相談したところ、すぐに対応してくれて加入している火災保険から支払いをしていただきました。保険は万が一の為のお守りと思つていますが、何かあった時に気軽に相談出来て、アドバイスをくれる保険屋さんがいるから、何もわからなくても、安心してお任せできるのかもしれないね。



白内障とは、どなたでも発症すると考えられる目の病気です。水晶体が加齢や長年にわたって紫外線を受けてるなど、さまざまな影響によって徐々に白く濁り、視力が低下する病気です。さまざまな原因で起こりますが、最も多いのは加齢によるものであり、これを「加齢性白内障」と呼んでいます。加齢性白内障は一種の老化現象ですから、高齢の人ほど多く発症します。視界がかすんだり、物が二重に見えたり、まぶしく見えるなどの症状が出現し、進行すれば視力が低下し、眼鏡でも矯正できなくなります。

白内障の予防と治療

ごく初期の白内障は点眼薬で進行を遅らせることができる場合もあります。濁った水晶体をもとに戻すことは

できません。白内障が進行して日常生活に支障がみられる場合には、外科的手術が行われます。この手術では、濁った水晶体を超音波で粉砕して取り除き、その代わりに人工水晶体である眼内レンズを挿入します。白内障は手術を受ければ視力の回復が見込める病気であるといえます。平均寿命が延長し高齢者が現役として活躍することの多い現代社会で、白内障による視力障害はさまざまなトラブルの原因になります。白内障手術は高度な医療技術によって年々進歩しており、早期の視力回復・社会復帰が可能となりました。目のかすみや視力が落ちたと感じる方は、眼科の受診をおすすめします。



◆営業時間

朝9時から夜7時まで

◆お手伝いできること

- ・家計の見直し（生命保険・火災・自動車保険全般）
- ・住宅ローンアドバイス、ライフプラン作成、遺言アドバイス、相続アドバイス（生命保険の活用含む）

◆主な資格

- ファイナンシャルプランナー（AFP）
- 認定保険代理士
- 相続診断士
- 住宅ローンアドバイザー



サラリーマン川柳

- ① 光もの 妻はダイヤで オレさんま
- ② みつめ合い 時も過ぎれば 睨み合い
- ③ 読みきれぬ 妻の心と 円と株
- ④ スカイツリー 人多すぎて 新迷所
- ⑤ ノーベル賞 うちにないは 平和賞

日本全国三〇、四九〇句の中から選ばれた優秀100句。第26回サラ川を彩る傑作の数々をご紹介します。今回は5作をご紹介します。



えふぴーカフェ:暮らしとお金のミニ情報



◆老後の暮らしにかかるお金

定年を迎えた後は現役時代よりも収入が減ることになります。老後の収入とかかる費用を試算した上で、必要な備えを確認しましょう。

老後にはどんなお金がかかる？

老後の生活費のほか、イベント費用も必要になる。老後のお金が不安視される昨今ですが、老後の暮らしにはどのくらいお金が必要なのでしょう？

生命保険文化センターの行った意識調査によると、老後最低必要と思う日常生活費の平均でもっとも多かった回答が、20万～25万円、総務省が調べた高齢者の実際の支出の平均は1カ月約27万円となっています。老後には、日々の生活費に加えて、子どもへの援助や、住宅のリフォーム代といったイベントにもお金がかかります。これらを考慮したうえで、不安分を備えましょう。

老後の生活費の目安

- 最低限必要と思われる日常生活費の平均・・・20万～25万円/月
- 高齢夫婦無職世帯の支出・・・・・・・・・・約27万円/月